



## 行財政・一般

### 市庁舎建設に備え 基金の積立てを

伊川 京子 議員

**Q** 老朽化で耐震も十分ではない市庁舎の建て替えについて、外部委員会の設置など具体的な検討に入っているにも関わらず、市庁舎建設整備基金の積立金が予算化されていないのはおかしい。基金は、長い間6億円余のまま毎年利息を残しているだけである。予算化していないのはなぜなのか。今後も積み立てる予定はないのか。

**A** 市庁舎の建て替えについては、老朽化、耐震化の問題等があり10年先とかいう問題ではないと考えている。平成26年3月議会で補正予算を計上し、本年度から積立てを開始する予定である。なお、積立額については、本年度の財政状況を見ながら判断したい。

### 「北部地域の活性化」 LIVING

村上 秀明 議員

**Q** 市が行う政策は、基本的に8地区の均等ある発展をどのよ

うにして実現するのかを考えなければならぬと思うが、北部地域の「福重・松原地区」のための「住みたくなるまち」政策をどのように考え、何を実施しているのかを尋ねる。

**A** 将来の大村市のグランドデザインを描く上で、特に福重・松原地区を中心とした北部地域の発展が極めて重要になると考えている。道路網の整備に伴い民間の宅地開発や新幹線車両基地の建設など北部地域の都市機能は充実するものと考えており、福重・松原地区への定住化促進を積極的に進めていきたい。

### 大村市のシンボル「花」を 表すセクションを

川添 勝征 議員

**Q** 大村市は、「花と歴史と技術のまち」である。花を中心としているが花を表す部署がない。市民にまちづくりの方向性を分かりやすくするには、各課で実施されている事業を横断的にコントロールする機能を持ったセクションが必要であると思われる。例として「花のまちづくり課」や「花のまち推進課」の設置を求める。

**A** 花のまちづくりの推進については、観光、農業、公園等それぞれの分野で担当課があり、関係課が連携して個別の事業を実施しているのが現状である。花のまち推進室等の設置については、今年度、庁内でよく協議し、関係課で連携をとりながら、推進室等をつくるような方向で、前向きに検討したいと思う。

### 一般職員の 人事評価について

城 幸太郎 議員

**Q** 一般職員の人事評価の必要性を提案させていただいたが進捗状況はどうか。初めて人を管理、評価、分析、指揮するのが係長であるが、課長の推薦、部長会議で昇格が決定しているのが現状である。客観性、公平性を担保するためにも一般職員の人事評価は必要不可欠である。また、勤勉手当、昇給にも反映させるべきだと思いませんか。

**A** 能力評価の対象者を拡大するため検討を進める中で、策定から10年近く経過した「大村市人材育成基本方針」の見直しが必要との結論に至り、現在見直しを行っている。その結果

をもとに、平成26年度中に係長及び一般職員への能力評価の試行を予定している。また、評価結果を処遇に反映させることを検討する必要があるが、制度自体への職員の信頼を高めることが重要であり、早い段階から研修等に取り組み、職員の見解を踏まえて改善を図りたい。

詳細は、市議会ホームページの「インターネット放送」、「会議録検索」をご確認ください。  
会議録は各出張所、図書館、議会事務局でも閲覧できます。

